

東北地方 1 か月予報

(5 月 1 4 日から 6 月 1 3 日までの天候見通し)

平成 1 7 年 5 月 1 3 日
仙台管区气象台発表

< 特に注意を要する事項 >

東北地方は気温の低い状態が続いていますが、向こう 1 週間も気温は平年を下回る見込みです。おそ霜の降りる恐れがありますので、農作物の管理に注意して下さい。

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

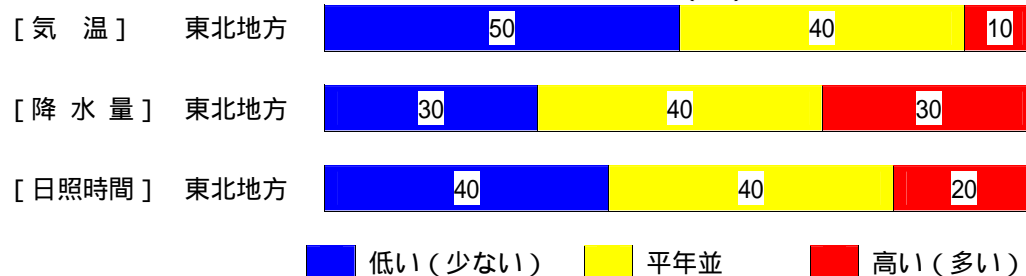
向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変化しますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。寒気や湿った東風の影響で一時天気がぐずつく見込みです。1 週目は気温のかなり低い日があり、おそ霜の降りる恐れがあります。

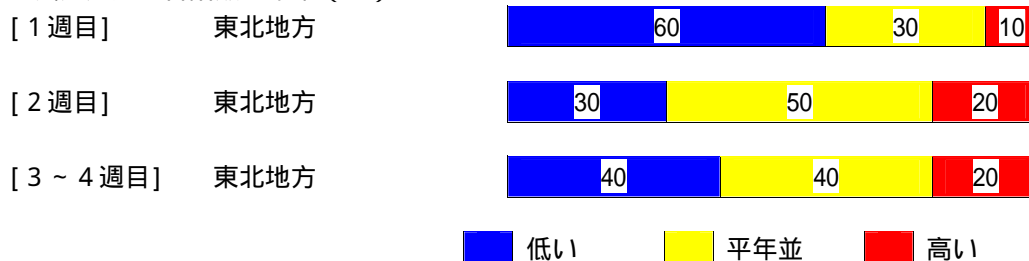
向こう 1 か月の平均気温は低い、降水量は平年並、日照時間は平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1 週目は低い、2 週目は平年並、3 ~ 4 週目は平年並か低いでしょう。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 5 月 1 4 日 (土) ~ 6 月 1 3 日 (月)
1 週目 : 5 月 1 4 日 (土) ~ 5 月 2 0 日 (金)
2 週目 : 5 月 2 1 日 (土) ~ 5 月 2 7 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 5 月 2 8 日 (土) ~ 6 月 1 0 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 5 月 2 0 日
3 か月予報 : 5 月 2 5 日 (水) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	15.4	151.8	190.7	13.8	14.7	16.1
新庄	16.4	95.3	184.0	14.4	15.4	17.4
若松	17.6	74.2	196.9	15.6	16.6	18.6
深浦	14.9	100.0	202.2	13.1	14.0	15.8
青森	14.9	76.9	208.6	13.3	14.1	15.7
むつ	13.8	94.9	200.2	12.3	13.1	14.5
八戸	14.5	88.8	202.5	13.2	13.9	15.1
秋田	16.3	109.5	200.5	14.3	15.3	17.3
盛岡	15.9	98.0	188.9	14.0	15.0	16.8
宮古	14.4	98.9	181.1	13.2	13.8	15.0
酒田	16.9	99.7	205.3	15.0	16.0	18.0
山形	17.5	76.7	198.4	15.6	16.6	18.4
仙台	16.5	104.2	183.9	15.0	15.9	17.3
石巻	15.7	90.4	195.3	14.1	15.0	16.5
福島	18.3	82.7	184.0	16.7	17.6	19.0
白河	16.6	123.7	175.2	14.9	15.8	17.4
小名浜	16.6	128.1	189.0	15.2	15.9	17.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.4	84～110	95～108
東北日本海側	-0.4～+0.4	81～114	96～108
東北太平洋側	-0.3～+0.3	83～109	95～109

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.4～+0.6	-0.6～+0.6	-0.5～+0.4
東北日本海側	-0.5～+0.6	-0.7～+0.7	-0.5～+0.3
東北太平洋側	-0.3～+0.7	-0.6～+0.7	-0.5～+0.5

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。
階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 17 年 5 月 13 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (5 月 14 日～6 月 13 日):

天気は数日の周期で変化しますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。寒気や湿った東風の影響で一時天気がぐずつく見込みです。1 週目は気温のかなり低い日があり、おそ霜の降りる恐れがあります。

平均気温は低いでしょう。

1 週目 (5 月 14 日～5 月 20 日):

気圧の谷や寒気の影響で曇りの日が多く、雨の日もあるでしょう。期間の中頃には、高気圧に覆われ晴れの日もある見込みです。期間の前半は平年よりかなり低い日があり、おそ霜の降りる恐れもありますから農作物の管理などに注意が必要です。

平均気温は低いでしょう。

2 週目 (5 月 21 日～5 月 27 日):

天気は数日の周期で変化するでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目 (5 月 28 日～6 月 10 日):

天気は数日の周期で変化しますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。寒気や湿った東風の影響で一時天気がぐずつく見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

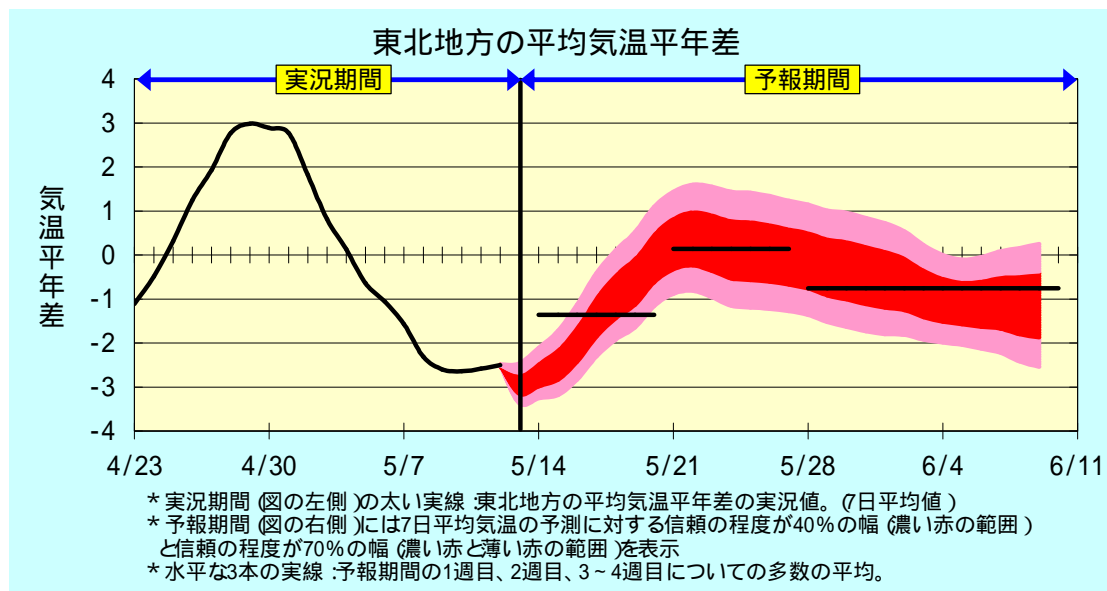
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	15.8 日	3.7 日	4.0 日	8.1 日
東北太平洋側	15.2 日	3.7 日	4.1 日	7.4 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目を「低い」、2 週目を「平年並」、3～4 週目を「低い」と予測している。予報は、その他の資料から 3～4 週目を「平年並か低い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

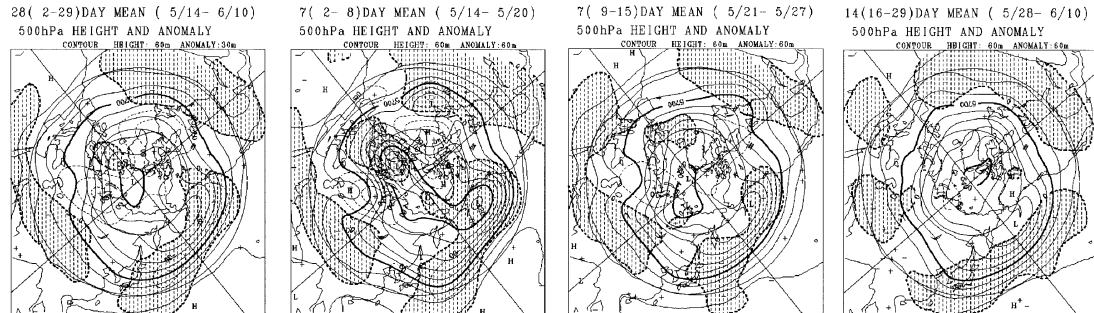


3．数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、北日本は東方海上に中心を持つ負偏差に覆われ、寒気が入り込みやすい。シベリア東部に気圧の尾根が見られ、オホーツク海高気圧が発生しやすく一時その影響を受ける見込み。

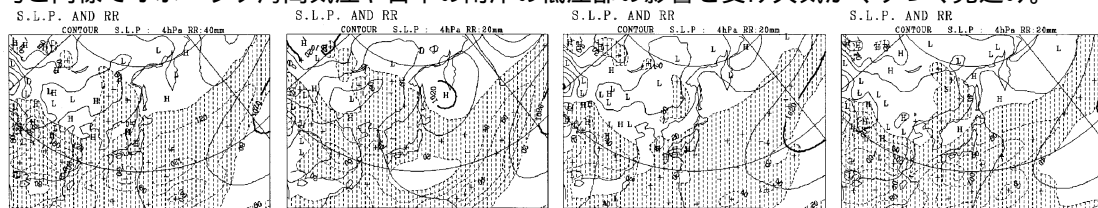
週別でも月平均と同様に北日本は東方海上に中心を持つ負偏差に覆われ、寒気が入り込みやすい。特に、東海上に気圧の谷が見られ西谷傾向の 1 週目や、日本付近全体が負偏差に覆われる 3～4 週目は寒気の影響を受け易い見込み。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本の南岸に低圧部が見られ、前線の発生が予想される。日本付近はそれに対応する纏まった降水域がかかる。また、オホーツク海高気圧も予想され、天気がぐずつきやすい。

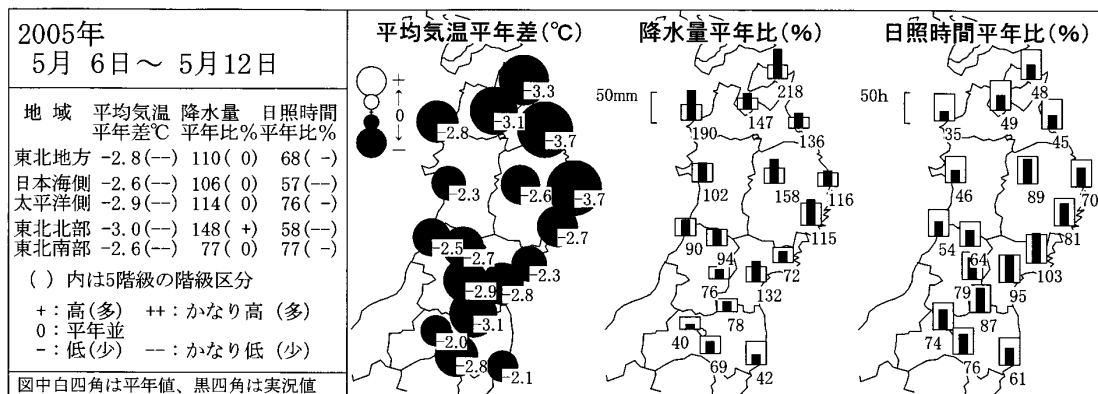
1 週目は、オホーツク海高気圧の影響で北日本は寒気や湿った東風の影響を受けやすい。2 週目は、日本付近の等圧線の間隔は緩やかで天気は数日の周期で変化する見込み。3～4 週目は、月平均と同様でオホーツク海高気圧や日本の南岸の低圧部の影響を受け天気がぐずつく見込み。



4．最近 1 週間（5 月 6 日～5 月 12 日）の天候の経過

この期間、低気圧や前線の影響で曇りや雨となる日が多かった。特に9～10日にかけては寒気を伴った気圧の谷が通過し、大気の状態が不安定となって東北日本海側や北部を中心に雷となった所もあった。その後も寒気の影響で気温が低く、天気のぐずつく日が多かった。

平均気温は東北地方でかなり低い。降水量は東三北で多く、東北南部で平年並。日照時間は東三北でかなり少なく、東北南部で少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）